

## 2026年度 JICA 関西教師海外研修 募集要項

### 1. 背景

国際協力機構（JICA）は日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関であり、約150の国・地域で国際協力を展開しています。日本国内においては、これら国際協力を通じて得た知見を生かし、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す新学習指導要領などの学校教育の動向を踏まえ、「教員向け研修」「教員向けセミナー」「訪問プログラム」「国際協力出前講座」など、国際理解教育/開発教育を支援する様々な事業を行っています。

本研修は上記開発教育支援事業の一環として、国際理解教育/開発教育の実践と推進に意欲のある教職員および教育行政関係者を対象に実施するものです。

### 2. 研修の目的

誰もが安心して暮らせる「だれ一人取り残さない」社会づくりに関わる問題は、世界でも、地域でも、そして学校でも共通する課題です。

本研修は、開発途上国の現状や国際協力の現状について、実際に途上国を訪問し、開発途上国の現状・課題、日本との関係、国際協力の現場を体験することで、国際理解教育/開発教育の意義、SDGsについて理解を深め、継続的に国際理解教育/開発教育の実践を行うことを目的としています。

また、研修参加者同士の意見交換や知見の共有を通して、研修終了後も継続してさらなる国際理解教育/開発教育の推進を図ることも目的としています。

### 3. 研修日程等

<u>事前研修</u>	①2026年6月17日（水）19:00～20:00 会場：オンライン
	②2026年6月20日（土）13:00～17:00（予定） 会場：オンライン
	③2026年7月4日（土）～5日（日）1泊2日 会場：JICA 関西
<u>海外研修</u>	2026年8月10日（月）～19日（水）移動日含む 研修国：ネパール連邦民主共和国（予定）
<u>事後研修</u>	2026年8月29日（土）終日 会場：JICA 関西
<u>授業実践</u>	2026年9月～12月（海外研修を踏まえ、各自で実践）
<u>報告会</u>	2027年2月予定（一般公開）

※年間を通じた研修となり、全ての研修への参加が応募条件となります。

※研修国の状況に応じ、研修の日程・渡航先を変更、または海外研修の実施を中止する場合があります。また、対面研修をオンライン研修に変更する場合があります。

4. スケジュールおよびプログラム概要 ※各プログラムの内容や時間は変更になる場合があります。

日程	プログラム	内容
2026年6月17日(水) 19:00~20:00	事前研修① 会場：オンライン ※全国の参加者を対象とした合同開催です。	目的：JICA事業・研修目的等の基本事項理解 ・ 教師海外研修の概要・研修の目的 ・ 国際理解教育/開発教育の概要 ・ 安全対策の説明と確認（JICA安全対策研修の受講、渡航前諸手続） ・ 海外旅行保険について
2026年6月20日(土) 13:00~17:00(予定)	事前研修② 会場：オンライン	目的：研修概要理解/研修国事情理解/参加者間チームビルディング ・ JICA事業・研修目的等の基本事項理解 ・ 教師海外研修の概要・研修の目的 ・ 国際理解教育/開発教育の概要 ・ JICA海外協力隊体験談（ネパール国紹介）
2026年7月4日(土) ～ 5日(日) (終日)	事前研修③ 会場：JICA関西	目的：研修国事情理解/開発教育の考え方、手法理解/参加者間チームビルディング ・ 研修国概要(援助方針、JICA事業概要、現地事業概要/防災、現地教育制度等) ・ 開発教育実践に関するワークショップ ・ 授業実践/指導案作成にむけたポイント ・ 海外研修日程説明 ・ 渡航情報説明
2026年8月10日(月) ～19日(水) (移動日・機内泊含む)	海外研修 研修国：ネパール連邦民主共和国 (予定)	目的：世界に関心を向ける/世界と日本との関わり、日本国内の多様性に気づく/防災等の世界共通の開発課題に気づく 【例】 ・ JICAネパール事務所訪問、意見交換 ・ JICA海外協力隊活動視察 ・ 現地学校訪問 ・ 現地学校における授業実践 ・ JICA草の根技術協力事業「学校のクラブ活動を活用した防災コミュニティのモデル形成」現場視察 ・ ホームステイ ・ 参加者間ふりかえり ・ その他、現地マーケット訪問等
2026年8月28日(金)	研修報告書提出	海外研修を踏まえ、各自で作成し、提出
2026年8月29日(土) (終日)	事後研修(対面) 会場：JICA関西	・ 収集した教材、資料の整理 ・ 実践授業に向けた意見交換と準備
2026年9月-12月	授業実践	海外研修を踏まえ、各自所属校で実践

2026年12月6日(日)	授業実践報告書提出	授業実践を踏まえ、各自で作成し、提出
2027年2月(未定)	報告会/一般公開	一般向けに、研修の内容や各自の授業実践の様子、気づき等を報告

その他、関西圏内/オンラインで実施される JICA 開発教育指導者研修 (参加推奨)

## 5. 実施体制

主催：独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 関西センター 市民参加協力課

## 6. 募集人数

8名(予定)

## 7. 対象

### (1) 応募資格

- 関西2府4県(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)在勤の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校の教員および教育委員会指導主事であること。
- 原則として、当機構が実施している教師海外研修、JICA ボランティア(青年海外協力隊等)、専門家等および国際協力レポーターとして開発途上国へ派遣された経験のある者を除く。

### (2) 参加条件

- 所属校における教育活動において、国際理解教育/開発教育に携わっているまたは実践の意欲があること。
- 所属先の了解があり、所属長の推薦があること。
- 連絡可能な E-mail アドレスを所有し、オンライン会議ツール(Zoom 等)を用いた研修実施に対応可能であること(インターネット環境、PC 等)。
- 教師海外研修の趣旨・目的を十分に理解し、同研修の実施年度だけでなく、翌年度以降に渡り、継続的に JICA の開発教育支援事業に積極的に協力できること。
- 研修参加後、学校現場や研究会等において、本研修の経験を広く伝え、地域における国際理解教育/開発教育を推進できること。
- 国内で実施する事前研修、事後研修および帰国報告会、海外での海外研修の全行程に参加可能であること。
- 帰国後、9~12 月中に、海外研修の経験に基づいた授業実践を行い、海外研修報告書および授業実践報告書(学習指導案)を提出すること。また後者については一般公開に同意すること。(著作権は、著作者本人に帰属する。)
- 研修国の事情(道路状況や衛生環境等)を勘案した上で、全研修行程に参加することができる健康状態であること。既往症や治療中の疾病、傷病がある場合、応募前に主治医と十分協議し、参加を検討してください。派遣国の事情により、十分な治療が期待できない場合があります。疾病によっては医師の診断書の提出を求める場合があります。なお海外渡航前後の持病(既往症)による治療費用等は JICA で加入する保険金支払いの対象にはなりません。

[地域別情報](#) [ネパール・ブータン\(厚生労働省\)](#)

- 研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける者、決められた活動に参加出来ない者については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。海外研修中に資格を失った場合は、旅費・滞在費等(キャンセル料を含む)を当該者が全額負担することを了承すること。
- 年齢制限はありませんが、教員経験1年以上、本研修終了後も2年以上の授業実践ができることが前提です。

## 8. 応募方法

- (1) 所定のウェブサイトアクセスし、①応募フォームに必要情報を入力・送信の上、②所定の所属長推薦書(記入・押印の上スキャンしてPDF化したもの)を以下メールアドレス宛に添付送信にてご提出ください。

JICA 関西 募集情報「2026年度 JICA 関西教師海外研修」

<https://www.jica.go.jp/kansai/recruit/index.html>

①応募フォーム：<https://forms.office.com/r/pMSYKgrLwN>

②所属長推薦書送信先：[jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp](mailto:jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp)



- (2) 応募締切 ①②ともに 2026年5月18日(月)17時まで

## (3) 注意事項

(ア)応募には、①フォームの送信と②所属長推薦書の提出の両方が必要です。いずれかの提出のみでは選考対象となりませんので、ご注意ください。

(イ)メール送信の際には、以下にご注意ください。

- 圧縮フォルダ(zip、lzh等)は受信できません。圧縮はせず、個別ファイルを添付ください。
- メール受信後、JICA 担当から2営業日以内に受け取り確認の連絡を差し上げます。連絡がない場合は、何らかの事情でメールが送付されていない可能性があるため、お問い合わせください。

## 9. 参加決定について

6月中旬を目途に JICA 関西から応募者全員に結果を連絡します。6月12日(金)までに連絡がない場合には、下記問い合わせ先にご連絡ください。

## 10. 参加費用について

以下の経費について、当機構の旅費規定に基づき、JICA が負担します。

### (1) 事前・事後研修の経費

- 本研修参加のための国内移動(自宅～研修場所)にかかる交通費(最経済路線)
- 国内研修に係る宿泊費(8,200円/泊を上限)(超過分は自己負担)

### (2) 海外研修の経費

- 訪問国への入国に必要な査証等申請のための費用
- 往復航空運賃および燃油サーチャージ

- 国内移動（自宅～出発空港）に係る交通費（経済路線）
- 渡航時に前泊後泊が必要な場合の関西空港近郊のホテル宿泊費
- 国内空港および海外での空港使用税
- 往復航空券手配にかかる手数料
- 海外旅行傷害保険加入費
- 現地視察に必要な交通費、入場料、通訳備上料等

以下の経費について、個人負担となりますのであらかじめご理解ください。

- パスポート取得にかかる費用
- 事前・事後研修参加における食費、その他個人的な費用
- 海外研修中の食費および宿泊費（全旅程で15万円程度、為替相場により変動する場合あり）
- 予防接種費用（必要な場合）
- その他個人的な費用

## 11. その他

- 参加者の研修中の扱い（年休／研修（職専免））については所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- 本研修では、JICAにおける労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- 本研修を通じて作成・提出いただくレポートや写真等の資料一式は、研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有いたします。また、広く他の教員の方々にもご参照・活用いただけるよう、JICAのHP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、ご協力をお願いいたします。
- 個人情報に関するお願い
  - ◇ 応募時にいただいた個人情報は、利用の可否を確認のうえ、JICA内の開発教育データベースに登録し、本研修以外のJICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICAの内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理いたします。
  - ◇ <https://www.jica.go.jp/joureikun/act/110000019.html> 学校教育を支援する取組として、本研修参加者の皆様に雑誌・書籍への寄稿・取材、教材制作へのアドバイス等にご協力をいただくことがあります。また、研修参加者の皆様にJICAが実施する研修やイベント等の情報提供を行っております。
- アンケートおよび開発教育メールマガジン（メルマガ）登録のお願い
  - ◇ 開発教育メルマガは毎月、国際理解教育/開発教育実践の参考となる授業実践事例やお役立ち情報を発信しています。また、個人情報はJICAとメルマガ・アンケート送付業務を担う運営委託会社のみで利用し、ご本人の承諾無しに第三者に開示することはありません。
  - ◇ 参加者の研修後の開発教育/国際理解教育への取組状況の把握、また、JICAの開発教育/国際理解教育事業及び研修のさらなる充実、改善に生かすため、研修参加者の皆様に後日アンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いします。

以上

<問い合わせ先>

独立行政法人国際協力機構 関西センター(JICA 関西) 開発教育支援事業担当

Tel. (078)261-0384 E-Mail : jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp

[電話受付時間：土日祝除く平日 10時-12時/13時半-17時]